

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	美咲町立旭小学校	実践者名	花谷 陸
教科等	総合的な学習の時間	学年	第5学年
		Stage	Stage 3
育成したい 資質・能力	・地域の方や資料、インターネット等から必要な情報を集める。(情報収集) ・課題解決を目指して事象を比較したり関連付けたりしながら整理・分析する。 (整理・分析) 【思考・判断・表現】		
単元・内容等	旭のよさを伝えよう		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	国語や社会、理科、総合的な学習の時間の時間で、調べ学習を中心にほぼ毎日情報収集を中心に活用している。 発表用スライド作成等を通して、集めた情報を整理する活動にも取り組んでいる。		

活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する

○単元の概要

- 第1時 大阪府岬町立淡輪小学校との顔合わせと、今後の交流
- 第2時 お国自慢交流に向けた情報収集
- 第3時 お国自慢カルタの作成
- 第4時 大阪府岬町立淡輪小学校との対面交流

○主な学習活動 (使用アプリ)

(1) 大阪府岬町立淡輪小学校との顔合わせ (Google Meet)

- ・淡輪小学校5年生とリモートで顔合わせを行った。
- ・自己紹介を中心に学級の様子や簡単な地域紹介を行った。



(2) お国自慢交流に向けた情報収集

- ・4年時までに学習してきたことを踏まえ、旭地域のよさ (自慢できるところや紹介したいことなど) について改めて調べた。
- ・伝えたいテーマ (場所や産業等) ごとに班分けを行い、淡輪小の5年生に伝えたい内容について、インターネットで必要な画像等を探した。
- ・かるたの文字 (50音) を1人1人の児童に割り振り、児童はその文字から始まる紹介文を考えた。 (例) な：夏は まきばの館の 水遊び

夏は
まきばの館の
水遊び

(3) お国自慢カルタの作成 (Jamboard、スライド)

- ・考えた紹介文と集めた写真を使ってスライドでカルタを作成した。
- ・作成したカルタをJamboardを用いて両校で共有し、お互いに意見や感想を伝え合った。
- ・それぞれの意見や感想を基にお互いの地域のよさがよりよく伝わるように修正を行った。
- ・Jamboard交流では、リアルタイムではなく時差をつけることで、お互いが書き込んだことを落ち着いて読むことができるようにした。



4 大阪府岬町立淡輪小学校との対面交流 (スライド)

- ・淡輪小学校にて、交流会を行い、それぞれのお国自慢を発表した。
- ・その後、作成したカルタの交換を行った。

実践者の手ごたえ

- ・カルタ作成に向けて、複数枚の写真を見比べ、相手に伝えるために必要な写真を選択することができた。
- ・カルタづくりを通して、文字や写真の挿入、図の移動、画像の切り取りなど様々な技能の習得に児童が必要感を持って取り組むことができた。

児童生徒の振り返りや反応等

(児童の感想)
 「自分たちで作ったカルタを使って、旭のよさを伝えることができてよかった。」「緊張したけど、Meetで淡輪小5年生と話ができうれしかった。発表も工夫ができた。」「旭のよさが伝わる写真をインターネットで選んだり、自分で撮影したりして、カルタづくりに使うことができてよかった。」